

大規模地震に備えて

日進中学校は注意情報発令と同時に生徒を下校させます。

< 大規模地震予知の流れ >

安心情報



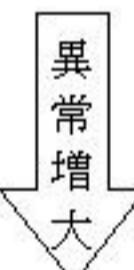
異常が観測されたが、大規模地震につながる恐れはないという情報です。注意情報発表後も、異常が沈静化した場合にも発表されます。学校は、平常通りの授業を実施します。

観測情報



体積歪計の1カ所で異常を観測した場合などに「観測情報」が発表されます。これは、しばらく様子を見る必要ありという情報です。テレビ等からの情報収集に努めてください。情報を見守りながら平常通り授業を続けます。ただし、校外学習・部活動などは、中止・延期を原則とします。

注意情報



体積歪計の2カ所で異常が観測され、地震発生の可能性が高まったと判断された場合、「注意情報」が発表されます。これを受けて、日進中学校は授業を中止し、緊急職員会議の後、分団担当の引率のもと速やかに下校します。異常が収まれば、安心情報に戻って発表が終了となります。

また、いったん下校した場合は、その後の状況にかかわらず、当日の登校の必要はありません。

予知情報

体積歪計の3カ所以上で異常が観測された時点で、気象庁が専門家を集めて判断を問う、判定会議が招集されます。ここで地震発生の可能性がきわめて高まったと判断された場合、気象庁から「予知情報」が発表されるとともに、内閣総理大臣により「警戒宣言」が発令されます。「警戒宣言」は、避難の準備を呼びかけるものですが、平常時から避難場所について各家庭で確認しあい、避難場所を決めておいてください。

警戒宣言

「警戒宣言」が発令されている間は、学校は休校とします。なお、各小中学校は、広域避難場所に指定されています。